TAO

大垰建設 お客様の声 ハウジングレポート 6

倉敷市 I様

倉敷市内の閑静な住宅地に建つ、エステサロン兼用の新築住宅。

外観は普通の住宅ですが、1階手前の部屋は奥様が営まれている
エステティックサロンになっています

日当たりのいいリビングでくつろがれるI様のご家族

「多目的に使えて便利」と奥様がおっしゃる
キッチン横につくられたタタミスペース

子どもさんの動きがわかるようにとリビング階段に。
収納をかねたカウンターも重宝されています

奥様が営まれているエステティックサロンには、
化粧品や美容機器がたくさん置かれている

バルコニーが広いこともI様邸の特長。スポットライトや
水栓もついており、子供さんのプール遊びもできそう

表札をかねた赤いモニュメント。名前を囲む
ようにアップルの飾りが取り付けられています

慶太君と愛梨ちゃん

カーポートのコンクリートの上に描かれたアップルの模様

ご家族全員の足型も描かれています

インタビュー
2011.12.25

自宅とエステの店を一緒に建てました

今回お訪ねしたI様邸は倉敷にあります。福山が活動の中心である当社では珍しいケース。しかし、多少離れていても施工やアフターサービスなど、福山同様の行き届いた対応に変わりはありません。

I様が建築に際して出された希望は、「子どもの動きがわかるリビング階段であること」。そして「人が出入りしやすいように、玄関を中央に配置すること」などです。

実際、中央の玄関を入ると廊下があり、そこを上がって、右に行けばリビング・ダイニング。左に行けば、一般家庭にはないような美容機器が置かれた部屋があります。

実は、I様の奥様はこの家でエステティックの施術サービスをされており、ここは住居であると同時にエステの店にもなっているのです。

「以前、住んでいた賃貸住宅でも、一室をエステの部屋に使っていました。この家を建てるとき、エステの部屋をつくることは最初から予定していました」と奥様。

店の名前は「アップル」。奥様の好きな果物をそのまま名前にされたそうです。まだ、引っ越されて日が浅く、本格的な施術営業はこれからということでしたが、閑静な住宅地の一角に自宅兼用のエステの店があるなんて、ちょっと素敵なお話ですね。

専門家のアドバイスは聞いたほうがいいです

実際の住み心地をお聞きすると、ご主人は「これからのローンが大変」と言いながらも出来栄えや住み心地には満足されているご様子。

奥様は、「キッチンの隣に四畳半のタタミスペースをつくってもらったのですが、その部屋が予想以上に便利です。うちのように小さな子供が二人もいる家庭には、多目的に使える畳の部屋は欠かせませんね」と。また、奥様のご両親が遠方から孫の顔を見に来られた時も、そのタタミスペースがあるので、滞在してもらいやすくなったとか。

「オール電化住宅ですが、電気代も以前の電気とガスの合計より安くなっていますね。それに断熱性がいいせいか、真冬でもエアコンだけですごせます」と奥様。

これから家を建てる方に何かアドバイスはありますか。という質問には、「打ち合わせのとき、担当のTさんからエステの部屋を8帖にしたら…と言われました。でも、私の判断で6帖にしたのです。実際出来上がってみるともう少し広くてもよかった、という気がします。やはり専門家の意見は聞いておくべきですね」とちょっと残念そう。

でも、この奥様ならスペースの足りないところをきっと技術でカバーしてお客様に満足していただかれることでしょう。